ココロねっこ新聞

長崎県

大人みんなで子どもの心を育てよう！ ココロねっこ

子どもたちは“ながさきの宝”

子どもたちの心の根っこを育てるため、大人のあり方を見直そう。2001年度に始まった長崎県独自の「ココロねっこ運動」。この20年間で、見守りや声かけ、パトロールなど、各地にさまざまな取り組みが根付き、広がっている。県内の子どもが少なくなり、地域のつながりが希薄化する中、地域で行われている子どもの心を育てるための体験活動のほか、市町や団体などの子育て支援の取り組みについて紹介する。

みんなで育て、見守ろう

平戸の住民で支える自立心育む通学合宿

平戸地区青少年健全育成会の松田建一会長は、自身の子どものPTA活動などに長く携わる中で〝地域で育てる〟ことの大切さを感じてきた。「子どもがお世話になっている地域へ恩返しがしたい」―。前会長から引き継いだ「平戸の子どもは地域の宝」という言葉を心に刻み、活動に取り組んでいる。

育成会で継続して実施してきたのが「通学合宿」だ。子どもたちが公民館などに平日寝泊まりし、炊事やそうじ、身の回りのことを自分たちで行いながら学校に登校する体験活動で、平戸市内では公民館と連携して2011年から始まった。当初は田助小学校区、平戸小学校区で実施していたが、現在では市内各地に広がりをみせている。

合宿に参加する児童は主に5、6年生で、20人前後。公民館で班に分かれて2～3泊共同生活をする。各地区の老人会、民生委員、区長、ボランティアが協力して事業をサポートするが、あくまでも見守るだけ。晩ご飯の献立を考え、買い出し、料理まで全て児童主体で進める。学年の異なる子どもたちが協力するので、互いに助け合う関係を築き、親から離れて生活する力や、自立心を育むことができる。

通学合宿で料理をする児童。地域の人が見守っている＝平戸市岩の上町、北部公民館

地域で育てる機運 この先も高めたい

この通学合宿で特徴的なのが「もらい湯」。毎日異なる住民宅の風呂を借りる。家に入る際のあいさつ、浴室や洗面台の使用後はきれいにするなど、基本的な礼儀も学ぶことができる。入浴後にお茶を飲みながら話をするなど、住民とのふれあいの場にもなっているという。20、21年はコロナ禍で中止となったが、松田会長は「本当に良い取り組みなので、再開していかなければいけない」と話す。

「通学合宿」は、地区の多くの人々が関わることを通して、子どもを中心としたぬくもりのある地域コミュニティーの再生も目指している。育成会だけの力では限界があり、住民とのコミュニケーションによる地域の巻き込みも大切だ。今後は、少子化の中でも地域で子どもを育てる機運を高めていくために、松田会長は「幅広い世代、団体とつながりがあるまちづくり運営協議会と連携して取り組みを進めていきたい」と語る。

共同生活をしながら一緒に登校する児童
＝平戸市大久保町、田助ハイヤ節伝承館

パパの読み聞かせ団体 大村「えほん侍」奮闘中

「この絵本、読んだことある人！」。ちょんまげに法被姿の男性の呼び掛けに、子どもたちの手が自然と上がる。毎月、大村市の黒木小学校で絵本の読み聞かせを行うボランティアグループ「えほん侍」。普段は仕事と子育ての両立に奮闘する父親たちが集まり、大村市を拠点に活動している。

「子どもを前のめりにさせる工夫が大切」と話す山崎康弘さんは、あえて物語を早口で読んだり、周囲の大人にアドリブで絵本を渡して読んでもらったりしながら聞き手を引き込む。

活動は今年で10年目を迎えた。代表の岩崎秀雄さん自身も、読み聞かせを通して多様性にあふれた絵本の世界を知ったという。「子どもたちにも新しい気付きを与えられたら。今後も地域密着で続けていきたい」と意気込んでいる。

児童に絵本の読み聞かせをする山崎さん
＝大村市黒木町、黒木小学校

ココロねっこ運動とは

県では、子どもたちを健やかに育むための取り組みを「ココロねっこ運動」として推進しています。
（長崎県子育て条例第22～24条）

取り組みの例
- 地域の子どもたちにあいさつをします
- 学校や地域行事などに参加しやすい職場にします
- 「家庭の日」は家族で過ごす時間を大切にします ※「家庭の日」…毎月第3日曜
- 子どものスマートフォンにはフィルタリングを設定します

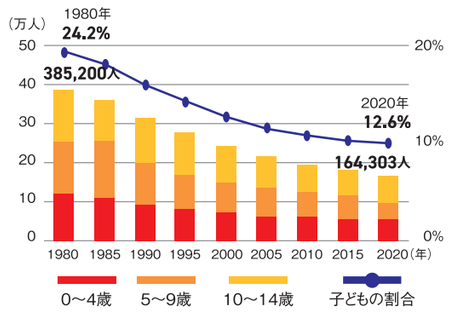
登録者数は6128人・団体（2020年6月末現在）

登録者を募集中!!

お問い合わせ　長崎県青少年育成県民会議 TEL095-824-7510

長崎県の子どもの数と総人口に占める割合

出典：国勢調査（総務省）



約40年前の子どもの数は38万人、人口の4分の1が子どもであったが、2020年は約16万人、人口の8分の1に減少する中で、子ども・子育てをめぐる環境が大きく変化。子どもの健やかな育ちのため、地域ぐるみで子どもを育てる必要性が増している。

ながさき基準
ネット・電子メディアの あそび 利用 よる9じまで

よる9じからは、わたしじかん。

便利で楽しいスマホやゲームついつい、使いすぎてない?
ねむる時間足りてる?集中して家で学習する時間ある?自分に向き合う時間ある?
一人ひとりが大切な時間をもっている。
だから、スマホやゲームを使うのを夜9時までで終わりにしない?

※お住まいの市町で利用ルールが設定されている場合は、市町のルールを守りましょう

毎月第3日曜日は「家庭の日」

家族の時間を大切にしましょう
月に一度は子どもを中心とした
家族団らんの時間を!

妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援

不妊治療が健康保険適用に

2022年4月から、人工授精などの「一般不妊治療」、体外受精・顕微授精などの「生殖補助医療」について、医療保険が適用されることとなった。県や中核市では保険適用前の22年3月31日以前に開始し、23年3月31日までに終了する年度をまたぐ治療について1回限り助成を行う。※対象は治療開始時の妻の年齢が42歳以下など。

また、LINEで妊活に関する情報提供や個別相談を実施している。個別相談は不妊症看護認定看護師、臨床心理士などの専門家チームが対応（県民は3回まで無料）。相談内容は不妊治療（保険適用後の制度内容など含む）、不育症、夫婦間コミュニケーションなど、妊活や不妊に関するあらゆる悩みが対象。※LINEの友達登録が必要。

問い合わせは、県こども家庭課（電095・895・2445）。

LINEの友達登録はこちら

ままんちさせぼ ～ママたちに安心を～

佐世保市では、妊娠・産前産後・乳幼児の子育て期を安心して過ごしてもらおうと、相談窓口『ままんち（ままの家）させぼ』を6年前に開設した。母子保健コーディネーター（助産師）や保健師、ママサポーターが電話や窓口で相談に乗るほか、家庭訪問を実施。子育て支援センターや育児サークルを巡回支援、市内の産婦人科にも定期的に巡回して、関係機関とのつながりを大切にしている。

妊産婦、乳幼児が日頃から利用している場所へ直接足を運び、お互いの顔が見えることで、自らSOSを出せずに悩みを抱え込むママたちを取り残すことなく、必要な支援につなげるようにしている。2021年からは支援センターで、妊婦やパパ向けに沐浴（もくよく）体験を開始。体験がきっかけとなり、産後にセンターを利用する親子も増えてきた。

また、産後ケアのサポートにも力を入れている。母子健康手帳を交付する際、助産師の家庭訪問や産婦人科などでのデイケア、ショートステイの利用について説明。妊産婦の中には、一人で頑張ってしまう人もいるため、産後に備えた心の準備や安心して子育てができるよう、全員に積極的な利用を勧めている。

保いっぷ ～保育人材と職場をマッチング～

県内には、約500カ所の保育所や認定こども園などがあり、県は保育士や子育て支援員など保育人材の確保に力を入れている。このうち、県保育士・保育所支援センターが運営する保育人材の求人求職サイト『保いっぷ』は、保育の職場で働きたい人と人材を求めている保育所などをウェブ上でマッチングさせるシステムで、2019年度に開設された。求職者が『保いっぷ』に登録後、条件に合う職場を見つけたら、支援センターのコーディネーターが見学や面接日の調整など、就職までを手厚くサポート。これまで210人が就職している。

このほか、主に養成校の学生を対象とした「保育の仕事合同面談会」の実施や、保育人材の離職防止・処遇改善の取り組みも行っている。

保育士資格をお持ちの方や子育て支援員の皆さん！
WEB申込みシステム 保いっぷ はじめました！
保育の職場で働きませんか?

里親制度 ～温かい家庭を必要とする子どもたち～

「里親制度」とは、虐待や経済的な事情などで親元で暮らせない子どもを自分の家庭に迎え入れ、さまざまなサポートを受けながら養育する制度。里親になるためには、研修を受ける必要がある。子どもたちは、こうした里親家庭で安心して生活することで、大人との愛着がつくられ、健全な心や身体を育むことができる。多くの子どもたちが、温かい家庭を必要としていて、県は里親家庭を増やす取り組みを行っている。里親制度の詳細は、厚生労働省のホームページで確認できる。

里親になりたい人や里親制度について知りたい人は、県里親育成センター「すくすく」（電0957・53・7343）へ。

みんなで「ヤングケアラー」を支える社会を目指して

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、子どもの心身の健康や教育に影響が出る可能性がある。家事や家族の世話などでつらいと感じる子どもや、ヤングケアラーかもしれない子どもたちに気づいたときは、市町の児童相談窓口または児童相談所に相談を。

虐待かもと思ったら
児童相談所 虐待対応ダイヤル 189（いち はや く）番へ
子どもたちや子育てに悩む保護者のSOSの声をいちはやくキャッチ!
189番にかけるとお近くの児童相談所につながります。

県内1,300店以上！
「ながさき子育て応援の店」拡大中！
県では、子育て家庭に優しい、お得なサービスを提供してくださるお店を募集しています。

ココロン パスポート協賛店 ながさき 子育て応援の店

サービスの例
★割引、ポイントUP
★ワンドリンク、お菓子などのおまけ
★多子世帯へのサービス上乗せ
★子ども用食器の提供
★キッズスペース、キッズトイレ、おむつ替えスペース

登録無料、メリットいろいろ
★販促資材（ステッカー、チラシなど）をご提供
★公式ウェブサイトでお店の情報を発信
★お店のイメージアップ

お申込み お問い合わせ
ながさき子育てポータルサイト ココロンネット
長崎県青少年育成県民会議 TEL.095-824-7510
長崎県こども未来課 TEL.095-895-2685

応援の店に行こう♪
お得なパスポートをダウンロードできる
ココロンネット・アプリ
子育て応援の店の検索、子育て関連のイベント情報など、いろんな情報をタイムリーに配信しています。
App Store Google play

親子の育ちを社会で応援します
お役立ち情報が満載!
子育て応援フリーマガジン ココロン
子育てが楽しくなる読み物、毎日の食事や遊びのヒント、困ったときの相談窓口などの情報が満載!
読者プレゼントもあります♪
年3回発行。幼稚園、保育所、認定こども園、小児科、市町の子育て支援窓口などで配布しています

10月31日まで

登録料半額キャンペーン

「長崎県婚活サポートセンター」開設7周年記念

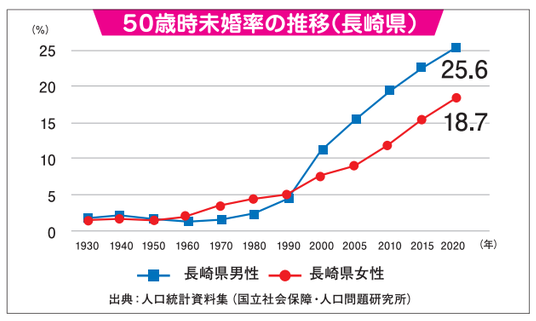
安心して子どもを産み育てることのできる社会を目指して、長崎県は結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援に取り組んでいる。その一つが結婚支援だ。今や県内男性の4人に1人、女性の5人に1人が結婚しない時代。一方で、国の調査では、独身男女の実に約9割が「いずれは結婚するつもり」と回答している。結婚の希望をかなえるため、県をはじめ、各市町でも出会いの場を増やし、後押しする事業が広がっている。

スマホで便利に会員数アップ！

県の結婚支援の柱が「お見合いシステム」。1対1の会員制マッチングシステムで、プロフィールを登録し、希望のお相手を探して引き合わせの申し込みができる。「独身証明や本人確認が万全」「引き合わせの際、サポーターが立ち合う」などの安心感が特徴。2021年秋からは、会員自身のパソコンやスマートフォンでお相手情報の検索・閲覧、申し込みが可能となるなど利便性が向上した。会員数は21年9月末時点の2093人から、22年6月末現在で2406人に増加。また、21年10月から22年6月までの間に誕生したカップルは390組で、59組がゴールインした。

システムを運営する県婚活サポートセンター（愛称・あいたか）の開設7周年を記念して、7月21日から「登録料半額キャンペーン」が始まった。通常1万円の登録料が5千円となる（2年間有効）。期間は10月末まで。

新型コロナウイルス感染症の影響で出会いの場が減っている中、結婚のお相手探しを始めた人は、この機会にシステムへ登録し、一歩踏み出すことをお勧めする。



プロフィール情報が関係を深める糸口に

3月に入籍

3月に入籍し、5月に挙式を終えたHさん夫婦。二人は県のお見合いシステムを通じて2021年5月に巡り合った。夫のSさん（39）は「充実したプロフィール情報から、相手と直接会う前にイメージができ、会ってからもスムーズに話題が見つかりました」と振り返る。

以前から、民間のお見合いパーティーやマッチングサイトを利用していたSさんは、約2年前に県のお見合いシステムに登録した。「本人確認などの事前審査が整っていて、一番安心して利用できました」とメリットを挙げる。妻のMさん（38）との顔合わせには、交際を支援する『お見合いシステムサポーター』も同席。サポーターが間に入りながら、Sさんは予習した情報をもとに積極的に会話を展開した。その後、夏ごろから交際がスタート。成婚の決め手は「Sさんの根気強さと一途な人柄」（Mさん）だった。

「お見合いシステムは事前にさまざまな情報をもとに相性を検討できますし、サポーターの同席のもとゆっくりお話できるので、初対面でしゃべるのが苦手な人ほど向いていると思います」と語るHさん夫婦。「今後は助け合いながら、楽しい家庭を築きたい」とほほ笑んだ。

サポートセンター愛称は『あいたか』

ロゴもリニューアル

県婚活サポートセンターを県民により広く、親しみを持って利用してもらおうと愛称を募集したところ、全国から1247件の応募があった。

この中から選ばれたのが『あいたか』。「会いたい」の長崎弁だが、センターで巡り合った二人に愛を高めてもらいたいという意味も込められている。婚活や結婚を後押ししているセンターの愛称に「ぴったり！」ということで選ばれた。

愛称決定に合わせてロゴも作成。カラフルなピースで表したさまざまな人たちが、センターで出会う様子をハート型で表現している。

ながさき縁結び新聞

長崎県

あいたか

長崎県婚活サポートセンター

〒850-8570 長崎市尾上町3-1 県庁2階

［TEL］095-893-8860

［開所時間］月・火・水・土・日 10時30分～18時30分
金 10時30分～19時30分

［休業日］木・祝日および年末年始（12月29日から1月3日まで）

充実の支援体制

県婚活サポートセンターでは「お見合いシステム」をはじめとした4つの支援策を展開している。

「縁結び隊」は、県認定のボランティアが会員のプロフィール情報を元に、お似合いの相手を見つけてくれる。引き合わせの際の立ち会いや交際中のアドバイスも。

「ながさきめぐりあい」は企業、店舗、NPOなどが「応援隊」となり、イベントによる出会いの場を提供。各地の婚活イベント情報をホームページやメルマガで配信している。

「WizCon NAGASAKI」（ウィズコンながさき）は、企業の独身男女のグループ交流を後押しするシステム。ウィズコン企業として登録された企業・団体の従業員同士で、数人の同性グループを作り、専用システムに登録すると、希望する他の企業・団体の異性グループと交流できる。

このほか、独身者の家族からの相談（登録不要・無料）にも対応。電話相談もでき、土・日も開所している。問い合わせは同センター（電0955-8933-8860）。

4つの婚活支援

(1)データマッチング「お見合いシステム」
(2)ボランティアがお相手探し「縁結び隊」
(3)イベント情報の発信「ながさきめぐりあい」
(4)異業種交流で出会う「WizCon NAGASAKI」

ボランティア、お見合い場所も募集中！

お見合いシステム登録から交際までのイメージ

STEP 1 入会申込と会員登録
「長崎県婚活サポートセンター」HP内で会員仮登録後、初回の来所予約*をする。予約日に書類提出後、プロフィール入力で会員登録完了！

STEP 2 お相手探し
窓口*の専用端末または会員のパソコンやスマートフォンで検索・閲覧、お引き合わせの申し込みをする。

STEP 3 お引き合わせ
相手が承諾した場合、サポーターがお引き合わせの日程を調整。当日はサポーターが同席。

STEP 4 交際スタート
お引き合わせ終了後、お互いに連絡先交換の意思があればサポーターを通じて連絡先を交換。お互いに交際の意思が確認できたら交際スタート！

*長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、壱岐市、五島市、西海市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町、長与町（登録のみ）でも登録や閲覧ができます。詳しくは、センターHPをご覧ください。

お見合いシステム 3つの安心

① 独身証明、本人確認が万全！
② 氏名・住所は非公開！
③ お見合いにはサポーターが立会い！

長崎県のお見合いシステム

まずはここから 仮登録!! ▶ センター、市町窓口で 本登録!!

各地域でも結婚を応援！

南島原市

3世代笑顔で暮らす地域づくり目指して

南島原市商工会女性部婚活支援担当　石川千津子氏

商売をしていて、日々、直面する少子化、そして後継者問題。これらの課題を話し合う中で、地元で活動し、ネットワークをもつ商工会女性部だからこそ、地域の人と人を結ぶお手伝いができるのではないか。これが婚活支援を始めるきっかけとなった。

2021年10月、女性部会員で県の婚活サポーター養成講座を受け、12月には全国的に活動している婚活コーディネーターの講演会を開催。1500組のカップルをマッチングさせたカリスマ講師から「令和の婚活は3D。誰と、どこで、どんなふうに生きていくのか、ライフスタイルで相手を選ぶ時代になってきている」と学んだ。講演をもとに、婚活イベントでは、年代に合わせたセッティングをし「友達を探す感覚で会話を楽しむ」などのルールを徹底している。ただ、真に参加者の心に寄り添えているのかは、分からない。まだまだ勉強中。

これまで、南島原市でのイベントなどにもサポーターとして協力しているほか、他エリアのさまざまな会合に出向き、取り組みを報告。婚活支援を呼び掛けたりして、裾野を広げる活動も続けている。

女性部が「おせっかい縁結び隊」と呼ばれても、かいわいにこどもの声が響き、親子3世代が笑顔で暮らせる地域づくりを目指していく。目標は南島原市が「婚活の聖地」となることだ。

諫早市

多彩なイベントで出会いの機会提供

諫早市では、市婚活実行委員会が主体となり、新たな出会いのきっかけづくりを目的に、さまざまな婚活イベントを開催している。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響から、大規模なイベントの開催が困難となる中、出会いの機会の提供として、オンライン婚活イベントを実施した。2021年度は2回のイベントに計149人が参加。オンラインシステム上でメッセージのやりとりを行い、カップリング投票後、直接会う機会を設けるというもので、24組のカップルが誕生した。

引き合わせ当日は事前にメッセージのやりとりができたこともあり、和やかに談笑しているカップルが多かった。今後も、さまざまな企画に取り組んでいく。

働きやすい環境づくり ～働く人の結婚・子育てを応援～

育児目的休暇制度を設定 仕事と生活の調和確立へ

株式会社 テレビ長崎
前代表取締役社長　宮前 周司氏

1969年に開局した当社は、番組制作や放送業務はもちろん、インターネットを活用した情報発信、スポーツ・音楽を含めた事業催事の企画運営などを通して、地域貢献に取り組んでいます。また、県内民放局の中でも早い時期からSDGsの実現に向けた活動に力を入れており、各部署に専任担当者を配置しています。

テレビ局は厳しい労働環境というイメージがあるかもしれませんが、時代に合わせたアップデートをしています。結婚・出産を経た女性が自分らしいキャリアを重ねられるよう、育児休業制度に加えて、子どもの行事や記念日など柔軟に利用できる育児目的休暇制度を設定。男性社員にも積極的な取得を促しています。

制度が整っていても、利用しづらい職場環境であれば意味がありません。子育てをしている社員が気兼ねなく利用できる空気感をつくることが大切です。社員一人一人の勤務状況を踏まえた、最適なワークライフバランスの確立を目指しています。

（2022年6月8日取材）

長崎市金屋町1-7　TEL.095-827-2111

［事業概要］一般放送事業（テレビ番組の制作など）、イベント・コンサートの企画運営など
［従業員数］111人

ながさき結婚・子育て応援宣言

県では、働く人の結婚・子育ての希望がかなう環境づくりに向けた、企業・団体の宣言を募集しています。

私たちも宣言しています！

アイティースペース(株)／アサヒビール(株)長崎佐賀筑後支店／アバス(株)／有田工業(株)／壱岐市／(株)イグアス／諫早市／(株)イシマル／(株)井石／(株)イデックスリテール西九州／(社福)いわこ会／(株)イワテック／(株)インテックス／(株)ウェディング石川／(株)内田会計事務所／(税)内田会計事務所／(株)ウラノ／雲仙市／ANAテレマート(株)長崎支店／HBB音楽院／(有)永武堂／(株)エキマエタクシー／(株)HAC／(有)エス・ケイ・フーズ／NIB長崎国際テレビ／NCC長崎文化放送／(株)NDKCOM／(株)NBCソシア／NBC長崎放送／(有)エフピーコンサルタント／エフプラスエル(株)／扇精光コンサルタンツ(株)／扇精光ソリューションズ(株)／大村市／小値賀町／(株)オリエントアイエヌジー／オリックス生命保険(株)長崎ビジネスセンター／梶原実業(株)／活水女子大学／cafe平井／(株)KabuK Style／(株)亀山電機／蒲原タクシー(株)／川棚町／環境プランニングサービス(株)／喫茶茶蘭花／(株)橋高／九州商船(株)／九州電力(株)長崎支店／(株)九州博報堂長崎支社／九州労働金庫長崎県本部／協和機工(株)／協和機電工業(株)／協和商工(株)長崎支店／(有)くさの書店／久保工業(株)／ケービーソフトウェア(株)／KTNテレビ長崎／(有)月光スタジオ／(株)COCOアドバンス／五島産業汽船(株)／五島市／(株)小林商店／(株)西海建設／西海市／西部ガス長崎(株)／(株)坂本屋／崎永海運(株)／佐々町／させぼパール・シー(株)／(株)三基／(株)サンフリード／(株)システック井上／シナリー美来営業所／柴山工務店(株)／島原市／島原ソフトウェア(株)／(有)秀工社／(医)春回会／(株)ジョイフルサンアルファ／(株)親和土建／(株)昭和堂／食楽酒房 花蔵／新上五島町／新上五島町婚活支援センター／(株)新長崎製作所／(株)信和／(株)スチームシップ／住友商事九州(株)長崎支店／生活協同組合ララコープ／製缶陸運(株)／(社福)正道会／(有)正文社印刷所／(社福)清和会／全国共済農業協同組合連合会長崎県本部／全日本空輸(株)長崎支店／(株)創見／総合ウェルフェア(株)／(有)そば幸／(株)ソル・ハート／第一生命保険(株)長崎支社／(株)大東設備／大和ハウス工業(株)長崎支店／(株)タナチョー長崎支店／(株)チトセピア／(税)中央総合会計事務所／チョーコー醤油(株)／(株)チョープロ／(株)司コーポレーション／(株)九十九紙源センター／出口工業(株)／東京海上日動火災保険(株)長崎支店／東彼商工会／(株)東美／(有)東洋印刷所／(株)ドゥアイネット／桃李(株)／時津町／(株)長崎銀行／長崎医療こども専門学校／長崎機器(株)／長崎空港ビルディング(株)／(株)長崎ケーブルメディア／長崎県／長崎県壱岐病院／(一社)長崎県医師会／(一社)長崎県LPガス協会／長崎県央バス(株)／長崎県上五島病院附属診療所有川医療センター／(一社)長崎県観光連盟／長崎県教育委員会／長崎県経営者協会／(公財)長崎県健康事業団／長崎県交通局／長崎県五島中央病院附属診療所奈留医療センター／(一社)長崎県歯科医師会／長崎県商工会連合会／長崎県醤油味噌協同組合／長崎県青少年育成県民会議／長崎県中小企業団体中央会／長崎県町村会／長崎県美容業生活衛生同業組合／長崎県病院企業団本部／(一社)長崎交流センター／長崎船舶装備(株)／長崎倉庫(株)／長崎大学生活協同組合／長崎市／(株)長崎新生活センター／(株)長崎新聞社／(株)長崎新聞文化ホール／長崎総合警備(株)／長崎ダイヤモンドスタッフ(株)／(株)長崎タクシー／(公財)ながさき地域政策研究所／長崎つきまち(株)／長崎電気(株)／長崎トヨペット(株)／長崎バス商事(株)／(株)ながさきプレス／長崎遊覧バス(株)／(株)中原建設／(株)中村工務店／(社福)ながよ光彩会／(有)長与タクシー／長与町／(社福)南高愛隣会／(株)ニーテックハマナカ／(社福)西大村福祉会／西九州スバル(株)／西そのぎ商工会／日本アチーブメント長崎(株)／日本コンピュータ・ダイナミクス(株)長崎営業所／日本紙工印刷(株)／日本生命保険(相)長崎支社／日本たばこ産業(株)長崎支店／日本郵便(株)※長崎県内308郵便局／(株)日本旅行長崎支店／(株)プレミア・ニュー長崎 ホテルニュー長崎／(税)ネクスト・プラス／野崎地平税理士事務所／波佐見町／橋口技術設計(株)／(株)橋本商会／服部産業(株)／原口電気(株)／(株)PAL構造／春雨タクシー(株)／東彼杵町／ひぐちグループ／平戸市／(株)日野商店／(弁)福田・木下総合法律事務所／ブライダルコスチュームスエヒロ(有)／(株)平安閣／(社福)平成会／ポーラ ザ ビューティ長崎浜の町店／ポーラ ザ ビューティ東長崎店／(株)ポーラ西九州ゾーン／POLAニュー長崎グランドグループ／ホテルJALシティ長崎／(株)堀内組／ホンダテクニカ(株)／増田石油(株)／松浦市／松栄グループ(有)／(株)マルクスインターナショナル／(株)丸野／(株)丸本／(社福)実寿穂会／三井住友海上火災保険(株)長崎支店／南島原市／(株)ミナミモータース／未来クリエイトジャパン(株)／メットライフ生命保険(株)長崎本社／(株)メディカル・プラネット／(株)メモリード／元船光タクシー(株)／(株)モリ／(社福)山陰会 普賢学園／(社福)悠久会／(社医)白十字会 燿光リハビリテーション病院／ラッキー自動車(株)／(株)ラッキーネットワークサービス／ラッキーバス(株)／ラッキーホールディングス(株)／(株)ラッキーモーターサービス／(有)リーブエージェンシー／(株)RITA-STYLE 長崎浜町店／レイビューティー浜町中央橋店

【登録企業・団体／539件】 7月12日現在［五十音順］

働きやすい環境をつくる3つの取り組み

① ながさき結婚・子育て応援宣言
企業の宣言を県に登録（登録無料）

② ながさき女性の活躍応援サイト
女性が働きやすい環境づくりをPR（登録無料）

③ Nぴか　長崎県誰もが働きやすい職場づくり実践企業認証制度
優良企業として県が認証
※Nぴかホームページなどで優良企業として周知するほか、建設工事の入札審査での加点などのメリットがあります

お申し込み お問合せ先
［結婚・子育て応援宣言］県のこども未来課／TEL.095-895-2683
［ながさき女性の活躍応援サイト］県の男女参画・女性活躍推進室／TEL.095-822-4729
［Nぴか］県の雇用労働政策課／TEL.095-895-2714